D－4　Small-for-Dates Infant の情緒発達と親の養育態度

長崎大教育　後藤ヨシ子

目的：新生児の成熟度をはかる1つの指標として，出生時体重と在胎期間の組み合せにより，small-for-Dates Infant（SFD）の情緒発達について，親の養育態度　社会的条件等を考慮しながら，Appropriate-for-Dates Infant 並びに Large-for-Dates Infant との比較にて分析を試みた。

方法：幼稚園4才児組20校在園児1336名を対象に親子関係診断テスト　幼児児童性格診断テスト並びに生育厂調査の3種類を実施した。

結果：①出生時体重・在胎期間別にみた親の養育態度並びに性格特性　②SFD内の体重差異による親の養育態度並びに性格特性　③保育器使用有無別による親の養育態度並びに性格特性　④社会的要因別（父親の職業を中心に）にみた親の養育態度並びに性格特性等の分析により，全体的にSFD群は，AFD群 LFD群に比し，不良な特性の出現がより多く，LFD群ほどより少ない。しかし性格特性においては3群間の差異は極めて小さいが，出生時体重という生物学的条件による情緒的発達への関与は皆無とはいいきれず，さらに出生後の養育にたずさわる母親の態度ならびに社会環境的条件の良否に大きく左右されることが指摘された。